



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月10日

上場会社名 株式会社ゲームカード・ジョイコホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 6249 URL <https://www.gamecard-joyco.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 石橋 保彦
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長兼IR室長 (氏名) 藪中 潔 (TEL) 03-5214-4777
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 平成27年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	12,609	0.2	441	△39.6	469	△37.4	234	△44.6
27年3月期第2四半期	12,585	△27.4	730	△58.0	750	△58.0	422	△60.1

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 226百万円(△42.9%) 27年3月期第2四半期 396百万円(△63.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	16.42	—
27年3月期第2四半期	29.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	56,997	41,070	72.1
27年3月期	59,081	41,272	69.9

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 41,070百万円 27年3月期 41,272百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
28年3月期	—	30.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,400	△1.3	△530	—	△530	—	△570	—	△39.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期2Q	14,263,000株	27年3月期	14,263,000株
28年3月期2Q	121株	27年3月期	121株
28年3月期2Q	14,262,879株	27年3月期2Q	14,262,879株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点におきまして、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、平成27年11月13日(金)に機関投資家及びアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定であります。この説明会で配布する資料、動画については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済環境は、円安・株高基調を背景として、大企業を中心とした企業業績の向上や雇用情勢の改善が見られるなど、緩やかな回復基調で推移しました。しかし一方では、中国経済の減速をはじめとする海外経済の下振れ懸念に加え、円安等に伴う原材料、食品などの物価上昇による消費マインドの減退懸念等、先行き不透明な状況が継続しております。

当社グループの販売先であるパチンコ業界においては、娯楽の多様化等によるパチンコ・パチスロ人気の低迷、低玉貸し営業の定着、消費税をファンに転嫁できないままであるパチンコホールにとっての消費税増税による負担増加等、パチンコホールの経営環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、パチンコホールではコスト低減化への取り組み、低価格志向を一層強めており、新規出店やリニューアルを含めた設備投資全般に対して慎重な姿勢が継続し、殊に周辺設備への投資は低調であり、当社グループを取り巻く市場環境は一層厳しい状況となっております。

当社グループでは、消費税をファンに転嫁する方策としてのカード減算方式と玉数調整方式の両方に対応し、さらに5インチ大型液晶で遊技ガイド等の情報配信を実現するなど情報提供端末として更に進化した新商品「G∞WIN'Z(ジーウインズ)」を本年3月に市場投入し、拡販を図ってまいりました。

新商品「G∞WIN'Z」は市場で相当の高い評価を得て、当社グループの基幹商品に成長しており、その結果、機器販売台数は、前年同四半期比で約29%増加し、加盟店の獲得、維持に貢献しております。

しかしながら、厳しい収益環境を受けたパチンコホールの閉店・廃業等による歯止めの掛からない市場規模の縮小、熾烈な価格競争による販売価格の低下に伴い、カード収入高、システム使用料収入の減少を避けられず、売上高は前年同四半期比で微増にとどまりました。

一方、利益面につきましては、機器販売においても、価格競争による販売単価の低下により利益率が減少し、機器粗利を含むすべての販売品目の粗利が前年同四半期を下回る結果となりました。

このような厳しい環境を打破するためには、新商品「G∞WIN'Z」の更なる機能拡張の他、パチンコ業界の活性化に貢献し得る次世代システムの開発、新規事業領域の創出が不可欠と考えており、引き続き、研究開発活動を積極果敢に展開しております。

以上のことから、当第2四半期連結累計期間における売上高は12,609百万円(前年同四半期比0.2%増)、営業利益は441百万円(同39.6%減)、経常利益は469百万円(同37.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は234百万円(同44.6%減)となりました。

販売品目別の業績概況は、次のとおりであります。

機器売上高は、5,871百万円(前年同四半期比11.8%増)となりました。

カード収入高は、2,005百万円(同8.0%減)となりました。

システム使用料収入は、4,492百万円(同8.7%減)となりました。

その他の収入は、239百万円(同3.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は56,997百万円となり、前連結会計年度末と比較し2,083百万円減少いたしました。

これは主に、有価証券が999百万円増加した一方で、現金及び預金が965百万円、リース投資資産が862百万円、投資有価証券が941百万円減少したことによるものであります。

(負債)

負債合計は15,927百万円となり、前連結会計年度末と比較し1,881百万円減少いたしました。

これは主に、流動負債のその他（主に未払金）が947百万円、固定負債のその他（主にリース債務）が909百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産合計は41,070百万円となり、前連結会計年度末と比較し201百万円減少いたしました。

減少要因は、利益剰余金193百万円の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月13日付「平成27年3月期 決算短信」にて公表いたしました通期の連結業績予想につきましては、現時点において変更しておりません。今後、修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純損益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,021	13,056
受取手形及び売掛金	2,148	2,824
営業未収入金	1,042	957
リース投資資産	6,005	5,143
有価証券	10,999	11,998
発行保証金信託	7,002	7,097
商品及び製品	2,569	2,146
原材料及び貯蔵品	618	554
その他	894	913
貸倒引当金	△17	△10
流動資産合計	45,284	44,683
固定資産		
有形固定資産	1,486	1,422
無形固定資産		
のれん	862	666
その他	2,034	1,933
無形固定資産合計	2,896	2,599
投資その他の資産		
投資有価証券	6,695	5,753
その他	2,932	2,724
貸倒引当金	△213	△186
投資その他の資産合計	9,413	8,292
固定資産合計	13,796	12,314
資産合計	59,081	56,997
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,211	2,164
営業未払金	17	16
未払法人税等	258	307
引当金	267	249
カード未精算勘定	2,591	2,549
その他	4,760	3,812
流動負債合計	10,107	9,099
固定負債		
引当金	91	103
退職給付に係る負債	440	463
その他	7,170	6,261
固定負債合計	7,702	6,827
負債合計	17,809	15,927

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,500	5,500
資本剰余金	5,122	5,122
利益剰余金	30,581	30,388
自己株式	△0	△0
株主資本合計	41,204	41,010
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	67	60
その他の包括利益累計額合計	67	60
純資産合計	41,272	41,070
負債純資産合計	59,081	56,997

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	12,585	12,609
売上原価	7,639	8,196
売上総利益	4,946	4,412
販売費及び一般管理費	4,216	3,971
営業利益	730	441
営業外収益		
受取利息	19	11
受取配当金	7	7
貸倒引当金戻入額	19	24
その他	48	26
営業外収益合計	94	70
営業外費用		
支払利息	21	14
支払保証料	23	22
その他	30	4
営業外費用合計	75	41
経常利益	750	469
特別損失		
ゴルフ会員権評価損	-	5
特別損失合計	-	5
税金等調整前四半期純利益	750	464
法人税等	327	230
四半期純利益	422	234
親会社株主に帰属する四半期純利益	422	234

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	422	234
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△26	△7
その他の包括利益合計	△26	△7
四半期包括利益	396	226
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	396	226

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。